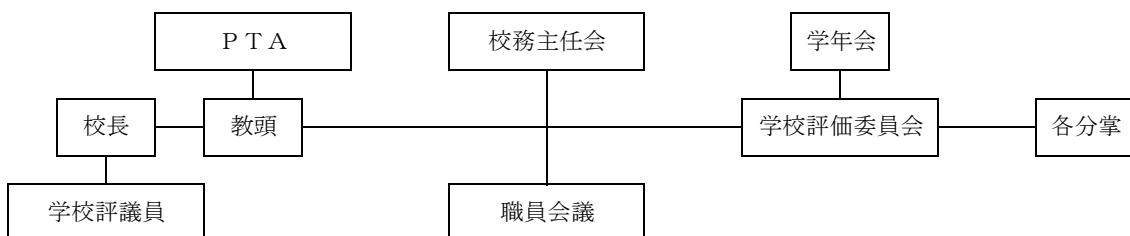


令和7年度 学校評価
(1) 学校評価のための組織



(2) 学校評価の年間計画

4月上旬	校長による教育目標提示（職員会議）
4月下旬	各分掌による年間目標提示（職員会議）
4月下旬	授業公開
5月中旬	自己評価シート提出（年間目標設定）
6月中	校長・教頭による面談
9月上旬	南高祭アンケート（生徒）、南高祭公開（保護者）
12月中旬	学校評価アンケート（職員・保護者・生徒）
1月中	分掌による年間評価、自己評価シート提出（達成度自己評価）
2月上旬	校長による面談と評価の伝達
3月上旬	次年度目標の設定準備、学校評価委員会（年間評価）

(3) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	(1) 自ら学び、考えて行動できる生徒の育成		
	ア 生徒が自ら考え、判断し、行動する機会の提供		
	イ 協働して課題を解決したり、目標に向かって努力したりする場の設定		
	ウ 学校ホームページ等による生徒の活動紹介		
	(2) 主体的・対話的な学習活動の推進		
	ア 学ぶことに興味・関心をもち、主体的に授業に取り組める授業改善		
	イ 生徒同士の対話を取り入れた、教科指導における探究学習の推進		
	ウ タブレットや図書館を活用した効果的な情報収集と深い学びにつながる学習指導の工夫		
	(3) 高い志を育むキャリア教育の充実		
	ア 進路指導に関する情報的確な発信と家庭との連携		
	イ 面談や進路行事等による進路目標の設定とその達成に向けた取り組みの支援		
	ウ 外部と連携した探究活動の実践による広い視野の獲得		
	(4) 健康な心身と豊かな人間性を育む教育活動の推進		
	ア 社会人としての規範意識と自律性の育成		
	イ 自他の生命を尊重し、互いの違いを認める態度の育成		
項目(担当)	ウ 生徒の心身の健康保持と安全・安心な学校生活のための支援		
	エ 働き方改革による教員の心身の健康保持とよりよい教育の実践		
	①わかりやすく、知的好奇心を喚起する授業の実施	具体的の方策	留意事項
	②主体的な学びと学力の深化を図る探究活動の推進	・授業評価アンケートを利用し、教員の自己点検、自己評価の実施 ・課題解決に向け、主体的に取り組むことのできる探究的な学習活動を取り入れる。	・授業参観週間を設定し、職員間で互いの授業を参考にして授業を改善しようとする雰囲気がある。 ・4割以上の教員が、探究的な学習活動を取り入れようと意識して行うことができる。
	③ICT機器やGoogle Classroom等を用いて学習指導の工夫	・Google ClassroomやGoogleフォーム等を用いて、生徒に授業評価アンケートを行い、授業改善に努める ・教科主任会などを通して、ICT機器を用いた授業を展開することを積極的に促すなど、ICT機器を用いて、課題解決につながる授業展開を目指す	・3割以上の教員が、ICT機器を効果的に活用する指導ができる。 ・Google Classroom等で課題指示や連絡を行うなど、ICT機器を用いて、学習活動の支援を行うことができる。
学習指導(教務部)	④家庭学習の質を高めるための授業と連携した学習課題の研究	・年2回家庭学習時間調査の実施 ・家庭学習強化週間の設置 ・授業での予習、課題点検の実施 ・課題未提出者への提出指導の徹底	・1週間の家庭学習時間が目標時間を超えているか、調査をする。 ・家庭学習強化週間で、学習時間に平時より30分以上の増加がみられる。

キャリア教育 (進路指導部)	①進路情報の的確な発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路だより」の発行 ・講演会、説明会の実施 ・卒業生の合格体験記のHP掲載 ・卒業生の合格体験交流会の実施 ・学部学科説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、進路についての情報を、よく提供している。」というアンケートで、8割以上が「そのとおりだと思う」、「どちらかといえばそのとおりだと思う」と回答する。
	②個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・探究情報部による学びみらいPASSを用いた生徒の適性の把握 ・進路希望調査の実施 ・担任面談の実施 ・進路検討会の実施 ・看護ガイダンスの実施 ・補習、特別講座の実施 ・個別指導（英作文、小論文、面接等）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、生徒の希望と適性を活かした、適切な進路指導を行っている。」というアンケートで、8割以上が「そのとおりだと思う」、「どちらかといえばそのとおりだと思う」と回答する。
キャリア教育 (探究情報部)	①「総合的な探究の時間」によるキャリア意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・探究プロセス（課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）を意識した指導に努める。 ・キャリア教育コーディネーターとの連携を密にする。 ・地域社会と連携し、社会人講話や学校外調査などの体験的な活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会にある「課題」について知ることができたかという質問に、9割以上が「できた」「まあまあできた」と回答する。 ・地域社会と連携し、第2学年316名が企業および団体へインタビュー調査を行う。職業観や勤労観を養い、自己の生き方考え方を考え、学びに向かう姿勢を育てる機会を作る。
生徒会活動 (生徒会部)	①生徒が主体的に取り組める部活動・学校行事の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の準備に積極的に取り組ませる。また、積極的に入部を勧誘して、部活動への参加を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が積極的に生徒会行事に取り組み、球技大会、南高祭などの学校行事で充実感を得る。また、部活動の登録人数が全体の90%を超える、多くの部活動が県大会に出場する。
生活指導 (生徒指導部)	①規範意識と自己指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導の実施 ・警察による交通安全講話の実施 ・学年単位の交通安全講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の合羽未着用者のチェック指導を引き続き実施し、合羽着用の徹底を図る。 ・自転車用ヘルメットの着用を推奨し、着用率を向上させる。
	②いじめ防止を含めた人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施 ・人権講話の実施 ・いじめの早期発見、事案への適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携して、「スマホ・携帯・PC使用ガイドライン10」の遵守を呼びかけ、ネットマナー確立に取り組む。 ・ネットパトロールによる監視を行い、不適切投稿等の早期発見に努める。 ・学校生活環境調査を実施し、生徒の学校生活における諸課題を早期に収集し、いじめなどの重大事案の早期発見、適切な対応に結び付ける。
学校保健 (保健厚生部)	①健康保持と安定した学校生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施。 ・救急蘇生講習会の実施。 ・「保健だより」の作成。 ・「命のサポートプログラム」の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は生徒の健康管理に取り組んでいる」という生徒・保護者向けのアンケートで、「その通りだと思う」、または「どちらかといえば、その通りだと思う」という回答が8割以上を占める。
	②相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業明けに「心と体のストレスチェックアンケート」を実施。 ・相談委員会の実施。 ・S CやS S Wとの連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの「学校には、悩みなどの相談に乗ってくれる先生が多くいて安心できる」で、「その通りだと思う」、または「どちらかといえば、その通りだと思う」という回答が8割以上を占める。
	③安心・安全な学校環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の健康チェック。 ・感染症予防対策の実施。 ・清掃点検の実施。 ・防災教育（生徒保健委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「校舎などの施設は、衛生的に管理されている」という生徒・保護者向けのアンケートで、「その通りだと思う」、または「どちらかといえば、その通りだと思う」という回答が8割以上を占める。
多忙化解消 (管理職)	①ICTの活用による超過勤務時間の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・退校時間の厳守 ・考查時間を利用した、早めの退校時間の設定 ・会議の実施の有無の見直し ・業務の見直しと再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時、午後7時30分校舎施錠を徹底する。 ・長期休業、考查期間中の早めの校舎施錠を徹底する。 ・休暇取得の呼びかけを、時機を得て繰り返す。 ・業務の見直しと効率化を図り、教職員の負担を軽減する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用による主体的・探究的な学びの推進について ・高い志を育むキャリア教育の充実について ・心身ともに健康で、豊かな人間性を持つ生徒の育成について ・働き方改革の進行状況について 	